



元気な

POWERFUL MEMBERS

会員情報

アルコールチェック義務化を背景に、スマートフォンと検知器を連携させて物理的に飲酒運転を防ぐためのアルコールインターロックシステムを開発した企業がある。システムの鍵はBluetoothと自社技術。開発の経緯について、飯田光浩社長に話をうかがった。

株式会社システムデザイン

代表取締役 飯田 光浩 さん



車に取り付けるデバイス(中)とアルコール検知器(左)を専用のアプリで連携。取付は20分程度で完了する。

INFORMATION

所在地: 福井市板垣3丁目1805
TEL: 050-1408-7448
E-mail: info@sysdes.jp



HP

スマホ連携で実現するアルコール検知システム

このシステムは、フィガロ技研(大阪府)と共同開発した。専用アプリでスマートフォンとアルコール検知器、車載デバイスを連携し、アルコールを検出した場合エンジンが始動しない仕組み。社用車の飲酒運転防止や運送・物流事業のコンプライアンス強化を狙う企業向け製品だ。

きっかけは以前より自社で製造販売する「カーセキュリティシステム」だ。特許取得した技術を応用したデバイスを車に取り付け、スマートフォンとのBluetooth機能により一定距離に近づかないとエンジンが始動しない仕組みで、現在も大手カー用品店で販売している。このノウハウをアルコール検知に活かし新システムを構築した。「アプリ・車載デバイス開発を全て社内エンジニアが手掛けることが強みで、従来製品より安価に提供できる」と飯田氏。このシステムの多角化した事業として住宅設備への展開も視野に入った。住宅のドア鍵のロックなど、暮らし全体を守る「スマートセキュリティ」の構築を目指していく。